

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターKusuの木（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日 ～ 2024年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46 (回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日 ～ 2024年 10月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士・公認心理師といった専門職を配置しており、集団療育や個別訓練等、その子や保護者のニーズに応じた療育を提供できる	集団活動や個別訓練、集団活動場面での専門支援など、一人ひとりに応じたプログラムを考えている	個々に応じた支援プログラムや活動プログラムの組み合わせなど、さらに柔軟な対応ができるよう工夫していく
2	基準人員以上に職員配置がされており、ケースに応じてその子に対する支援を調整できる	基準の人員配置を正しく行い、急な予定変更などにも対応できるようにしている その子が自立に向かえるよう、支援のレベルを調整していくようにしている	左記を継続して行うとともに、統一した支援を行えるよう情報共有していく
3	効率的なPDCAサイクルで支援を検討している	カンファの時間で、現状の見立て・課題・今後の支援方法について職員でアイデアを話し合い、支援方針を決定している	左記を継続して行うとともに、統一した支援を行えるよう情報共有していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレなど家族支援プログラムの提供	事業所として保護者に対するペアレントトレーニングは実施していない	子どもと保護者で参加して活動する時間、保護者の方同士との交流や学びの時間の提供について検討していく
2	園や地域など他の子どもたちと活動する機会が持ちにくい	プログラムの時間が限られており、交流の機会を設定できていない	地域の子どもや兄弟児も一緒に参加できるようなイベントを考えていく プログラムの立案が一部の職員に偏っているため、全員が意見やアイデアを出しやすくなるよう、話し合いの機会をより増やしていく
3	保護者等への情報発信不足	現在ブログやInstagram等の情報発信ツールを使用しておらず、LINEの公式アカウントにて月間活動計画をお知らせするにとどまっている	提供する情報が押しつけにならないよう配慮しながら、活動の様子などを可能な範囲で発信していくことを検討する SNSの活用に加え、ホームページの開設をすすめることでより広い情報発信に努めていく